

柏コース2『かしわスマートサイクルをプロデュース』

目 的

柏市スマートサイクルに関して、よりよい活用・運用方法を提案する。

コース紹介

「かしわスマートサイクル」は、柏市内に設置された9ヶ所のポート（駐輪場）で自転車が借りられどのポートでも返せる、エコで便利な自転車の共同利用（コミュニティサイクル）の社会実験です。あなたの大学に、毎日使う駅に、ちょっと不便なあの場所に、ポートを設置してみたい…スマートサイクルの活用・運用方法を検討します。

フィールドワーク

時間	行き先	備考
10:15 ~ 12:00	①UDCK 	柏の葉キャンパス駅前にあるUDCKにて、 ・スマートサイクルの概要把握 ・ポートおよび運用システムの見学 ・スマートサイクルの試乗 ・地図を使った地域の概説 を行います。 【講師】(財) 柏市都市振興公社 江田主査 ※UDCKとは 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）。柏の葉から都市の未来を描く-公・民・学の連携によるまちづくり拠点である。
12:00 ~ 13:00	②柏公設市場 	柏の葉キャンパス駅近くの市場場内で昼食をとります。
13:30 ~ 15:30	③SGリアルティ、柏たなか駅、柏の葉キャンパス地区JR柏駅、柏市役所 	スマートサイクルが運用されている現場を実際にバスで回って体感します。
15:30 ~ 16:00	④麗澤大学	過去のデータを読み解く手法を学べ、様々の見学したポートの特徴を分析します。 【講師】東京大学 Steven Kraines

Aチーム

メンバー

東京大学 D3 年 甲斐荘 さん
 東京大学 4 年 芝原 さん
 麗澤大学 1 年 青木 さん
 麗澤大学 1 年 山上 さん

発表内容

かしわスマートサイクルの利用状況を分析し、通勤通学以外の利用を拡大させるため、観光地とまちを巡る2つのネットワークを提案した。
 ポートをバス停の近くや観光地に設置しアクセスを良くし、料金設定を下げることで利用者拡大を図る案を提案した。

かしわスマートサイクルをネットワークデザインでプロデュース

New Style for the

2013/2/18-19 大学コンソーシアム東葛 第3回学生ワークショップ
 まちのプロデュース大作戦Vol.2
 柏コース2-A 青木周 甲斐荘秀生 芝原貴史 山上和貴

かしわスマートサイクルとは

駅や大学などに設置された好きなポートで自転車を借りて好きなポートで自転車を返すことのできる仕組み



柏の葉キャンパス駅で借りて 柏たなか駅で返す



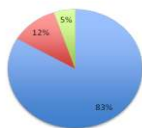
- ・登録制
- ・100円/1時間
- ・月額ユーザー(になると900円で最初の1時間がなんども無料)

スマートサイクルの現状

・トリップ中の通勤・通学トリップ

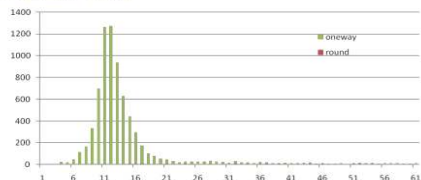
割合

	トリップ数	割合
計	8023	100
通勤・通学	6691	83.39773152
ラウンドトリップ	919	11.45456812
それ以外	413	5.147700361



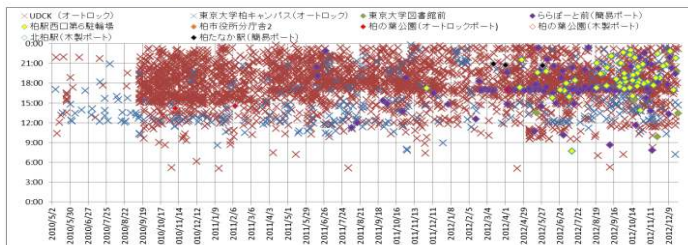
■ 通勤・通学
 ■ ラウンドトリップ
 ■ それ以外

・利用時間別ヒストグラム

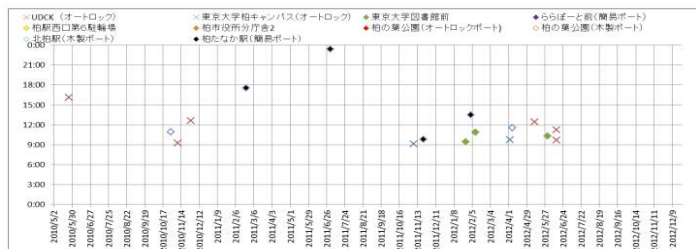


スマートサイクルの現状

東京大学柏キャンパスからレンタルした自転車の返却ポート (0円のレンタルを除く)



柏たなか駅から
レンタルした自転車の返却
ポート（0円のレンタルを除く）



「通勤・通学以外の利用」を促す

現状:通勤・通学利用

- 1.観光地を巡る + 2.まちを巡る

- 通勤・通学の利用がほとんど。
- 10分程度の利用が多い。
- ネットワークに入らないポートが存在し、利用者が少ない。

→もっとユーザーを拡大したい。

そのために...

- 交通手段の一つとして確立
- 散策目的の利用
- スマートサイクルネットワークの形成

A. ポートをバス停に併設

→他の交通機関との接続

B. 観光資源にポート設置

→観光地へのアクセス向上

C. 2時間で100円の料金制度に転換

→まち、観光地をゆったりと回遊してもらう

観光地を巡る 一大堀川



まちを巡る 一モラージュ／かしわで一



観光地を巡る 一吉田邸一



ご清聴ありがとうございました。

Bチーム

『かしわスマートサイクルをSNSでプロデュース』

メンバー

東京大学	M1	年	宮崎	さん
江戸川大学	2	年	川上	さん
東京理科大学	M1	年	木村	さん
麗澤大学	3	年	小西	さん

発表内容

かしわスマートサイクルの利用状況を分析し、新規ユーザーの拡大と既存ユーザーの満足度向上のため、SNSを活用したホームページとビジター利用のサービスについて提案した。
ホームページについては、ユーザーが景色や飲食店情報や、運営側への要望を投稿できる等、システムに参加できる仕組みを作る。また、新たなシステムを導入し、デポジット金をとることでビジター利用の拡大を図る提案を行った。

かしわスマートサイクルを SNSでプロデュース

2013/2/18-19 大学コンソーシアム東葛 第3回学生ワークショップ
まちのプロデュース大作戦Vol.2
柏コース2-B 木村一心 小西彩恵 宮崎智裕



拡大するスマートサイクルネットワークをサポート

利用者を増加させ、満足度を向上させるシステム

現在:朝、夕方の通勤通学利用が中心

昼間に利用されていない自転車が多く存在しており、この時間帯の自転車の回転率を向上させる必要がある

かしわスマートサイクルの利用状況について

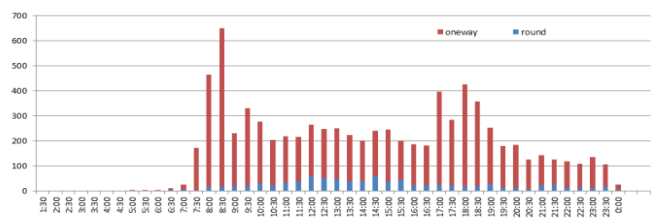
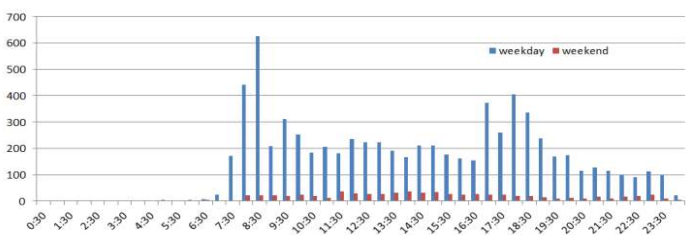


図:時間別貸出数

平日に比べ、圧倒的少数の土日の利用を増加させる余地がある。



かしわスマートサイクルホームページ

- 出来ること
- ・利用方法、利用規則の確認
 - ・ポートの空きの確認
 - ・ポイント・履歴の確認
 - ・登録情報の変更

- 出来ないこと、やりたいこと
- ・情報発信(市外へ/利用者間)
 - ・運営への参加
(ポートの増設への要望)
 - ・自転車の予約
 - ・自転車不具合の報告
(インターネットで24時間)



ホームページ提案例

かしわスマートサイクルのホームページについて

提案

かしわスマートサイクルホームページを制作し、

- ・利用者間/市民向け情報発信の活性化
- ・運営へのユーザーの参加
- ・利用システムの利便性向上

を実現し、通勤需要以外の利用を取り込む。

また、効率的に運用できるシステムの工夫を行う



SNS機能

かしわスマートサイクルのホームページに書き込むことで、スマートサイクルを利用して出かけた記録をリアルタイムで載せることができる。

- ・地域の名所
- ・人気のレストラン
- ・柏のきれいな風景

@tc...

書き込んだ内容は、ユーザーページだけではなく、例えばfacebook, twitterでかしわスマートサイクル名義で全世界に発信することができる。

SNSに書き込むことでスマートサイクルを宣伝したことに対するポイント付与というサービスも考えられる。

位置情報サービスと連携させることもできる。

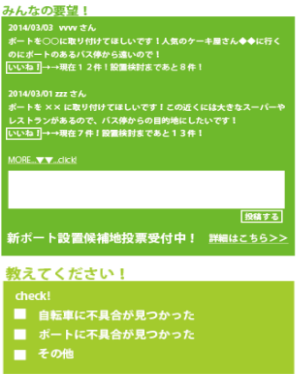
このSNSを活用して、ユーザー向けの利用情報の発信もできる。



ユーザーの運営参加

新規ポートの設置希望を掲示板に投稿し、他のユーザーから一定量の評価(いいね!)を得られた場合、正式にポートの設置を検討してもらうことができる。

電話でしか受付窓口のなかった自転車ポートの不具合の報告フォームを、ホームページ上に設置し、24時間受け付けられるようにする。



利便性の向上

xxxxさんについて

2月の利用

8回（利用料金：1000円）
走行距離：13km
消費カロリー：950kcal
CO2削減：500g
詳細はこちら>>>

利用予約

月日時分

ポート

ポートをリストから選ぶ

予約状況：現在の予約はありません。

利用履歴の詳細が閲覧可能になる。
利用回数/料金だけでなく、消費カロリー、co2削減量、所持ポイントなどの閲覧が可能である。

情報を見える化することで、スマートサイクル利用を促すインセンティブにつながる。

それまでは不可能だった、自転車の利用予約という機能も追加する。
例えば1日以上前から予約をすると、その分自転車の回転率が低下する恐れがあるため、ポイント/追加料金が必要になる。

- ・SNSを活用し、システムやまちの情報の交換/発信
- ・利用者の運営への参加
- ・利便性の向上
- ・システムの構築

↓
スマートサイクルの利用者が増え
かつ
利用者の満足度が向上する

プロデュース完了！

システムの提案(ビジター利用の実現)

・ビジターへの貸し出し
現金の出納ができるポートを利用の多い駅などに設置。
そこでは、デポジット金500円を預かって、身分証不要で自転車を貸し出すこととする。

デポジット金は盗難や、不慣れな利用者が自転車を路上に放置することを防ぐ目的で課される。

自転車が一定期間返却されなかった場合は放置されたと見なし、別のユーザーがポートに返却することでデポジット金を受け取ることができる。

自転車の探索は、GPS端末を自転車に取り付けるか、放置された自転車の番号を公表してユーザーが探すなどの方法とする

ご清聴ありがとうございました！



講 評

江戸川大学
濱田教授

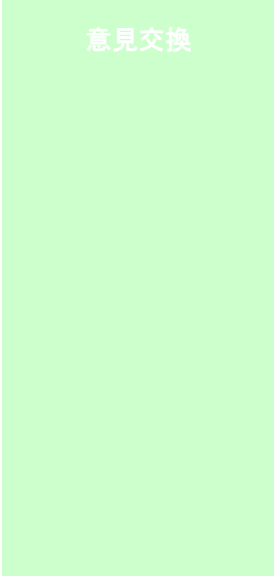
AB両グループで関連性を持たせた発表になっていた。
ともに、まちを変え、社会を変え、新しい柏の葉のコミュニティの形やライフスタイルの提案となっていた。

聖徳大学
眞壁教授

ワークショップのプログラム内という短時間の中で、きちんとまとまったプレゼンができていて良かった。

麗澤大学
成相教授

AB両グループとも具体性があり素晴らしい発表だった。



意見交換

(財)都市振
興公社

参加学生

- ・ スマートサイクルの拡大については、現実的に難しい点がある
- ・ 動機付けが緻密で良い
 - クレイネス准教授から利用者のデータを提供していただいたため、現状の把握・グラフの準備が比較的容易だった
- ・ 何故柏市の北部だけの提案となったのか
 - 南部まで検討する時間がなかったため
- ・ 自転車の通りやすい道については検討したか？
 - 検討する必要があった

活動の様子



実際にポートを見学



クレイネス先生の講義